

電通 鬼十則

厳寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今月のお題は、「電通鬼十則」でいきます。

広告業界のトップは電通ですが、あの電通を昭和20年代に、現在の地位に飛躍させた人が4代目の吉田秀雄社長です。おそろしくワンマンだった吉田社長には、営業マンに電通精神を叩き込んだ壮絶な「鬼十則」があります。

私の好きな格言なので記載します。



専務取締役 吉田治伸

1. 仕事は自ら創るべきで、与えられるべきではない。
2. 仕事とは、先手先手と働き掛けて行くことで、受け身でやるものでない。
3. 大きな仕事と取り組み、小さな仕事はおのれを小さくする。
4. 難しい仕事を狙え、そしてこれを成し遂げるところに進歩がある。
5. 取り組んだら放すな、殺されても放すな、目的完遂までは・・・
6. 周囲を引きずり回せ、引きずると引きずられるのとでは、永い間に天地のひらきができる。
7. 計画を持って、長期の計画を持っていれば、忍耐と工夫と、そして正しい努力と希望が生まれる。
8. 自信を持って、自信がないから君の仕事には、迫力も粘りも、そして厚みすらない。
9. 頭は常に全回転、八方に気を配って、一分の隙もあってはならぬ、サービスとはそのようなものだ。
10. 摩擦を怖れるな、摩擦は進歩の母、積極の肥料だ、でないと君は卑屈未練になる。

20代の時、はじめて目にふれ、それ以来、密かな私の座右の銘です。